

〈東京都立大島海洋国際高等学校 TEL:04992-4-0385 FAX:04992-4-1764〉

メールアドレス：[S8000531@section.metro.tokyo.jp](mailto:S8000531@section.metro.tokyo.jp)

HP アドレス：<http://www.osima-kaiyokokusai-h.metro.tokyo.jp/index.html>



## 国土交通大臣賞受賞

6月5日、熊本市市民会館において第32回土砂災害防止全国の集いが開催され、本校が功労者として表彰されました。代表して生徒会長の高沼君が出席しました。表彰状の文面と高沼君の寄稿を掲載します。

表彰状 東京都立大島海洋国際高等学校殿

帰校は平成25年10月に伊豆大島を襲った甚大な土石流災害に際し全校生徒一丸となって民家敷地や道路等の土砂撤去作業を自発的に行うなど被災者支援活動に尽力されました。その功績は誠に顕著であります。よって平成26年度の土砂災害防止月間に当たりこれを表彰します。

平成26年6月5日

国土交通大臣 太田昭宏



功労者賞は全国で8団体が選ばれ、社会人の団体が多い中、都立高校の受賞は大島高校と本校の2校のみでした。

一部の生徒の声から始まった災害ボランティア活動が、このような形で認められ、歴史ある賞をいただけたことに私は胸が熱くなるのを感じました。全4回の災害ボランティアでしたが海国生参加者一人一人が力をつくした結果選んでいただけたものだとは思っています。1回や2回は誰にでもできることですが、数を重ねて活動することは難しいものだとも感じました。それができた海国生の皆さんを私は誇らしく思います。今なお課題の多い現状ではありますが、これからも一人一人が一生懸命に努力すればより良い未来が待っていると私は思います。(3年高沼 快和)

## 基礎航海学習

6月6日から7月3日まで、4回にわたって1年生の基礎航海学習がおこなわれました。生徒の感想文を掲載します。

航海を終えて

山田 清那

私がこの基礎航海を終えて学んだことは、「先を読んで行動することの大切さ」です。今までこんなに5分前行動を意識したことはありませんでした。時間に関するだけでなく、課業をやっていく中で次は何をすればよいのかをあまり考えられずに失敗してしまうことが多々ありました。この乗船で、その大切さに気付くことができて本当に良かったです。

6日目のヤシづくりでは、先読みすることは周りをみて行動することにもつながるということを学びました。メンバー全員が同じところに集まって作業することは無かったので、とても楽しかったです。

船員さん全員に共通したオーラを感じました。私はそれをすごく格好いいなと思いました。特に船長に操舵のとき言われた「失敗してもいい。男らしく大きな声でやりなさい」という言葉はとても印象に残っています。そして将来芯の通った男らしい女性になりたいと思いました。

また、乗船前より友達との仲を深めることができ、そのことが何より嬉しいです。



## ALT より

### Time Flies as the Clock is Thrown Out the Window

Long, long ago in a small Vietnamese rice field somewhere in America, there lived a sprout. This little sprout loved the traditional things in her heritage. Curious about every aspect in life, she pestered her parents and teachers with questions upon questions. In middle school, she had an English teacher named Mr. Pocky who taught a unit about poetry.

She learned about sonnets, limericks, and many other styles. Each day, homework was to create an original poem using the style they just learned. Because Mr. Pocky had taught in Japan for one year, he also taught about haiku and tanka styles. That night, the sprout had a dream about her elementary school days. The little sprout's teacher had donated a golden dress to her. As she poses underneath the willow tree in the school's courtyard, the teacher takes the picture. In the middle of the night, a haiku was written while a glass of milk and honey was consumed.

A decade later, the wilting rice plant flies away. Half way around the world, a refreshing, slightly different rice paddy exists. It was larger. The language was alien-like. There were hurdles upon hurdles to overcome. Nevertheless, there was room for her leaves to stretch wide, and her stem to bend and twist. The soothing breezes among the camellias and the coming and going of tides upon the black sands encouraged her to blossom with new faces and new experiences. With new eyes, new ears, and an awakened mind, I was able to absorb nutrients to revive myself and nurture a flower that is suitable for me. But I'm not quite there yet.

My precious students, my beloved coworkers, my indispensable friends. We naturally worked together to create experiences, lessons, and tests for each other. I believe that everyone has unlimited potentials. I am still learning, growing, improving. I will continue to until I have reached a level that I am comfortable and satisfied with. That is the selfish me. However, along with this, I hope to continue to guide, pull, and lure you to the level you desire. If needed, I will push you even further beyond myself because I want to see you exceed me. Push yourself to the limits, and the limit will surely be readjusted.



Do not forget to SMILE,  
Duong “Youngie” Hoang

## 時は飛ぶように進み、まるで時計を窓から投げたかのようです

昔々、アメリカのあるところ、小さなベトナム米の田んぼがありました。そこには小さな新芽が暮らしていました。その小さな新芽は伝統的な古いものを愛していました。その芽はたくさん質問をして、教師や親を困らせていました。中学に進むと、彼女はミスター・ポッキーという詩の先生に会いました。

その新芽はソネット（14行詩）やリメリック（5行詩）や他にもたくさんの詩の形を学びました。毎日、その日に学んだ詩の形で詩を書くことが宿題でした。ミスター・ポッキーは日本で1年間教師をしていたので、ミスター・ポッキーは俳句や短歌についても教えてくれました。ある夜、小さな新芽は夢を見ました。彼女の小学校時代の夢でした。小さな新芽の先生は彼女に金色のドレスをくれました。彼女は校庭の柳の木の下でポーズを取って、先生は彼女の写真を撮りました。その夜、一杯のミルクとハチミツが飲まれる間に、一つの俳句が生まれました。

10年が経ちました。稲は少ししおれてしまって、旅に出ることにしました。世界を半周くらいして、目新しく、少しだけ違う種類の稲があるところまで飛んでいきました。その稲は大きかった。その稲の言語はまるで宇宙人の言葉みたいでした。乗り越えなくてはならない壁がたくさんたくさんありました。それでも、葉っぱを広げたり、茎を曲げたり伸ばしたりできる場所がありました。椿の花を渡る優しい風と、黒い砂に寄せては返す波が彼女を励まし、彼女は新しい花を新しい経験と共に咲かせることができました。新しい目で、新しい耳で、そして眠りから覚めた心で、私は私自身を生き返らせる栄養を吸収しました。そして私にぴったり似合う花を育てることができました。だけど、私はまだゴールには着けていません。

私の大事な生徒たち、愛すべき同僚、私の大切な友達。私たちは自然と一緒に働き経験を積み、授業をし、テストを作りました。私はみんなが潜在能力を解放できたと信じています。私はまだ勉強中で、成長中で、発展途上です。私は自分が満足できるレベルに達するまで勉強し続けます。それが私のわがままです。だけど、だからこそ私は、あなたが自身に望む段階に到達するまで導き、引き上げ、興味を引き出すことを続けます。もし必要ならば、私を超えたところまであなたを押し出すことだってします。何故なら私は、私を超えたあなたが見たいのです。

限界まで自分を高めてください。そうすれば、限界はさらに先になっているでしょう。

笑顔を忘れないで

Doung “Youngie” Hoang

篠原 大亮 訳

平成22年より本校に勤務していただきましたが9月より広島に転勤になります。ありがとうございました。



## 遠足

7月16日遠足がおこなわれ、それぞれの学年で行動しました。



第1学年は三原山登山でした。学校周辺は濃霧で登山が危ぶまれましたが、良い天気で景色もよく、良い思い出となりました。温泉ホテルで食事と入浴をしました。

2学年は日の出浜で海水浴または釣り、及びバーベキューを楽しみました。



第3学年は恒例となった式根島へ行きました。新島村の連絡船「にしき」をチャーターして移動し、海水浴・バーベキュー・島内観光を楽しみました。

## 沖ノ鳥島観測航海学習

7月17日から27日の予定で、事故により延期となっていた沖ノ鳥島観測航海を実施しています。参加者は当初の11名から6名に減ってしまいました。初めての7月実施ということで、今までとは違う観測結果が得られるのか楽しみです。

## 部活動予定（全国大会出場のみ掲載します。御声援よろしくお願いいたします。）

- ・セーリング部 インターハイ 煌(きら)めく青春 南関東大会  
8月4日から8日 於：神奈川県湘南港江の島ヨットハーバー
- ・カッター部 第16回全国水産・海洋高等学校カッターレース大会  
7月23日から25日 於：愛知県蒲郡市民会館前海面特設コース
- ・潜水部 第17回全国水産・海洋高等学校ダイビング技能コンテスト  
8月17日から19日 於：秋田県男鹿海洋高等学校